

## 宮崎労働局長から企業トップへの「働き方改革」要請

### －株式会社アラタナー

平成29年11月27日、吉田宮崎労働局長が、株式会社アラタナーの取締役CHRO管理部長 船山展丈さんから「働き方改革」の取組状況をお聴きし、更なる取組の推進をお願いしました。

訪問企業名	株式会社アラタナー
所在地	宮崎市橘通東4丁目8-1 カリーノ宮崎7階
労働者数	130名
事業内容	IT業（ECサイトの構築）

#### ▶働き方改革について

職種は、クリエイターが5割、コンサルタントが4割、管理部門1割。納期に厳しい業界であるため、残業が集中する場面もある。

本来、IT業界は労働集約型であるが、当社の場合は、平成27年にスタートトゥデイグループに参画してからビジネスモデルを高付加価値型に変革した。

東京と同じようなエキサイティングな仕事を、自然豊かな宮崎の地で実現することができている職場であると考えている。

次年度から新卒者の初任給を38%引き上げる。併せて、在籍中の労働者の賃金も16%引き上げる。

#### ▶時間外労働について

ビジネスモデルの変革後、労働時間は着実に減少している。本年10月の労働者一人あたりの月平均残業時間は8.5時間である。

全員の時間外労働時間数をオープンにし見える化を図っている。

10月よりフレックスタイム制を導入している。昼食時間も柔軟なものとしている。育児中の労働者など多様な働き方を求める者から好評を得ている。

残業時間は労働者個人の努力だけで削減できるものではないと考えている。よって、労働時間の多寡を人事評価の項目にはしていない。残業時間の削減には会社のビジネスモデルの構築とマネージャー職の効率的な管理が不可欠と考える。

#### ▶生産性の向上について

業務のIT化を推進している。データはすべてクラウドで管理しており、ペーパーレスを実現している。稟議やスケジュール管理もシステム化している。細かいことでも生産性を考えて業務を行っている。例えば、議事録もその場でリアルタイムに作成し共有して

いる。

➤テレワークについて

クリエイター職でテレワーク勤務者が 2 名いる。エンジニア職以外でも特殊事情等があれば、テレワークを認めることもある。

コミュニケーション不足とならないように TV 会議やチャットを活用している。

➤その他

許可制による副業を認めている。クリエイターは探究心が強く、新技術を求めて転職するケースがあったが、副業を認めることにより、そういった理由による離職を一定数、防ぐ効果がある。



左：取締役CHRO管理部長舩山展丈さん 右：吉田労働局長